

ブラジル岩手県人会創立65周年記念式典における林大使ご挨拶

2024年8月25日（土）10:00～

多田 マウロ 孝則 ブラジル岩手県人会会長  
達増 拓也 岩手県知事  
工藤 大輔 岩手県議会議長  
ご臨席の皆様

ブラジル岩手県人会が創立65周年を迎えられ、達増知事をはじめ岩手県関係者の参加を得て記念式典が盛大に開催されることを心からお祝い申し上げます。

様々な困難を乗り越え今日の繁栄を築き上げた先人の皆様、その先人の意思を継いだ2世、3世、4世、そして新世代の日系人の皆様に日本国大使として改めて深甚なる敬意と感謝の意を表します。

岩手県人会は、岩手県とブラジルを結ぶ大切な絆です。これまで海外技術研修員の受け入れや県費留学生等を通じて、県と長年交流を続けてこられました。

実を申せば達増知事と私は、今から36年前に外務省でともに働き始めましたが、知事はその後政界に転身され、大活躍されています。知事とはこれまで何回かお会いする機会がありましたが、今でも忘れられないのが、東日本大震災直後に盛岡でお会いした時のことです。私は外務省の派遣団の団長として知事と会談しましたが、知事の表情からも岩田県の大変なご状況を察することができました。その後、私たちは陸前高田、大船渡などの被災地を回り、岩手県のために我々が出来ることは何か、を考えさせられました。私自身も微力ながら東北の復興のPRなどに努めておりましたが、当時、ブラジル岩手県人会の方々も義捐金を送付するなどを行って支援されたと承知しております。

そうした困難な時期を乗り越え、今日こうしてブラジルで達増知事をはじめとする岩手県の代表団の方々をお迎えできるのは大きな喜びであり、これからも岩手のために私が出来ることをしていきたいと決意を新たにいたしました。

例えば観光分野では、去年からブラジル人の日本への短期渡航について査証免除も始まり、昨年比で6割以上もブラジル人訪日客等が増えております。「日本のふるさと」とも言われる遠野は私が日本で最も愛する場所の一つですが、平泉や三陸の海の幸など観光資源が豊富な岩手県への訪問をもっとPRしていきたいと考えています。

また、ブラジルでは既に南部美人など岩手のお酒がよく知られていますが、水産品などを含めて、岩手のいいものをもっとブラジルで販売、普及させていきたいと考えておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、岩手県の皆様、岩手県人会の皆様のますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

(了)